


クボタシーアイ株式会社 小田原工場

1. 事業概要

住所	〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7-6-1	
従業員数 (協力会社)	160名 (H27(2015).4.1現在)	
敷地面積	61292㎡	
事業内容	塩ビ管・継手の製造	

主要製品

塩ビ管

- ・一般、HI、SGR-NA、SRA、SRB、
- ・耐熱、電線、三層、二管路、
- ・農水圧力、下水、カラー



カラーパイプ、継手

塩ビ継手

- ・TS、HI、DV、VUDV、耐熱、SGR継手・ゲートバルブ
- ・リップ、透明、カラー、SGR
- ・ハイゲートバルブ



HI継手



耐熱継手

工場変遷(沿革)

昭和42年	(1967)	久保田鉄工(株) 小田原工場完成 ケーブル保護用塩ビ管生産開始
昭和53年	(1978)	SGR-NA管生産開始
昭和56年	(1981)	ポリブデン管生産開始 松田出荷センター完成
昭和58年	(1983)	ガス用ポリエチレン管の生産開始
平成元年	(1989)	PM優秀事業場賞受賞
平成10年	(1998)	ISO9001認証取得
平成11年	(1999)	SGR-NAVH管の生産開始
平成12年	(2000)	ISO14001認証取得
平成13年	(2001)	リサイクル三層発泡管の生産開始
平成14年	(2002)	リサイクル三層管(ソリッド三層管)の生産開始 小田原西配送センター完成
平成17年	(2005)	クボタシーアイ(株)設立 (※)
平成18年	(2006)	生産供給体制の一層の最適化を目指し、ポリブデン管 ガス用ポリエチレン管の生産拠点変更を実施
平成21年	(2009)	生産拠点再編により、耐熱パイプ・継手、TS・HI継手、 ハイゲートバルブの生産開始

※ (株)クボタ 合成管事業部とシーアイ化成(株) 管工機材事業部の事業統合によるもの。

平成21年 (2009) 堺本工場を4月末で閉鎖、石津西分工場(工場名:堺工場に変更)に集約。

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

2.環境方針

ISO環境方針

クボタシーアイ株式会社 及び 株式会社九州クボタ化成は、合成樹脂を原料として、社会生活に必要な水道管、下水道管などのライフラインを社会に提供しています。その活動において、地球環境の保全が人類全体の課題であり、企業にとってその対応が重要な責務である事を認識し、環境保全に不断の努力を行います。

[理 念]

私たちは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現をめざし、地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行います。

[方 針]

1. 製品の設計・開発、製造から出荷までの各段階において、環境保全に積極的に取り組みます。また、環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善する事によって、長期的で幅広い観点から環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 社会の持続的な発展に寄与できる製品の開発ならびに製造を推進するとともに環境リスクの低減及び環境汚染の未然防止に努めます。
3. 私たちは、自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。
4. 環境関連法、条例、協定及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。
5. この環境方針を実践するため、環境保全中期実施計画達成に向けて、その実施状況を定期的に確認し、環境マネジメントプログラム計画の見直しを行います。
6. この環境方針を、当社で働く人 及び 当社の為に働く人に周知させると共に、各人が日常生活においても環境に配慮した行動を行うよう、環境意識の向上に努めます。
7. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。またこの環境方針は、私たちの姿勢を理解していただくため、一般の人も入手可能とします。

平成26年6月1日

クボタシーアイ株式会社
製造部門 担当役員

山本 芳樹

ISO認証取得状況

平成12年1月19日 (2000)	ISO14001認証取得 (審査機関: 日本科学技術連盟)
平成15年1月19日 (2003)	第1回更新取得
平成18年1月19日 (2006)	第2回更新取得
平成20年8月28日 (2008)	第3回更新取得
平成23年2月22日 (2011)	組織統合審査 兼 拡大審査合格 (統合: 小田原、栃木、堺、九州クボタ化成)
平成24年3月27日 (2012)	第4回更新取得

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

3.環境保全中期計画 目標及び実績

課題	取り込み項目	管理指標	基準年度	目標 2015年度 ^{※4}	2014年度	
					実績 ^{※4}	自己評価 ^{※5}
地球温暖化の防止	CO2の削減	CO2排出原単位 ^{※2}	2008	▲14%	+19.1%	△
	省エネルギー	エネルギー使用原単位	2008	▲14%	▲3.9%	△
循環型社会の形成	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位	2008	▲14%	▲19.7%	◎
		再資源化率 ^{※3}	-	99.5%以上	99.6%	○
	水資源の節約	水使用原単位	2008	▲21%	▲59.6%	◎
化学物質の管理	VOC ^{※1} の削減	VOC排出原単位	2008	▲21%	-	-

※1 VOC(揮発性有機化合物)は、排出量に占める割合が大きい、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています。

※2 CO2排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度ごとの値を使用しています。

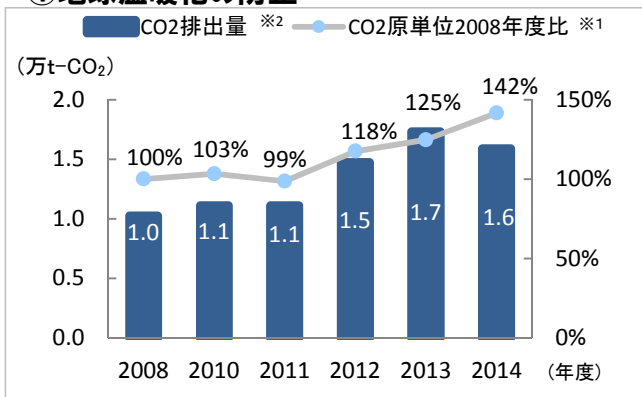
※3 再資源化率(%) = (有価物売却量+社外再資源化量) ÷ (有価物売却量+社外再資源化量+埋立量) × 100
社外再資源化量には熱回収量を含みます。

※4 ▲は「マイナス」を意味します。

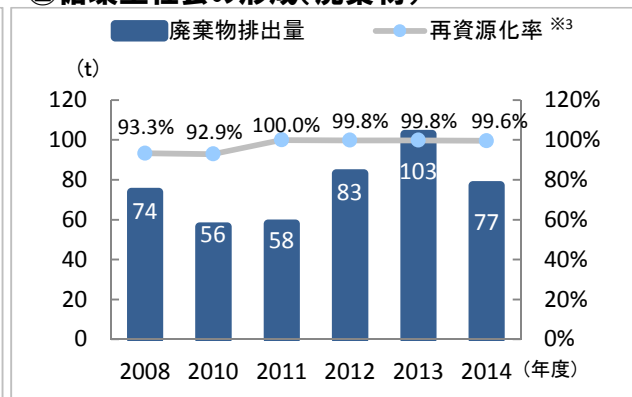
※5 自己評価の基準 ◎目標超過達成(目標を20%以上超過している場合) ○目標達成 △現状では未達成

4.環境パフォーマンス

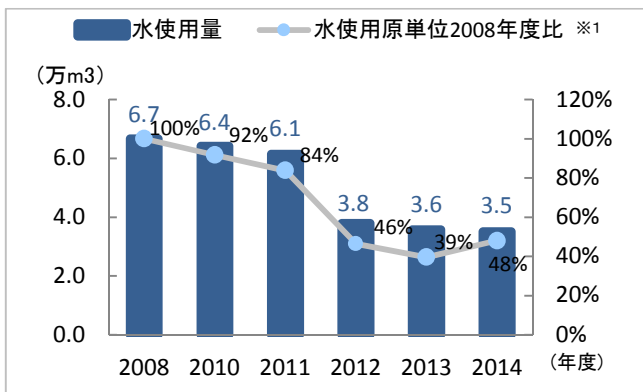
①地球温暖化の防止



②循環型社会の形成(廃棄物)



③循環型社会の形成(水)



※1 原単位2008年度比:2008年度の生産金額ベースの原単位を100とした場合の割合

※2 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

※3 2013年度より社外再資源化量に熱回収を含んでいます。従来どおり熱回収を含まない場合の再資源化率との差は軽微です。

クボタシーアイ株式会社 小田原工場

4.環境パフォーマンス(つづき)

PRTR法対象物質の排出量・移動量の削減(2014年度)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
239	有機スズ化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11
305	鉛化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	106

5.環境トピックス

- 地域の美化活動に継続的に参加しています。
『クリーンさかわ』 (平成25年5月19日)
工場周辺公道の清掃 (平成25年6月27日)
- 神奈川県地球温暖化対策推進条例に基づき、神奈川県庁技官による事業所訪問を受けました。
(平成25年5月29日)
- 神奈川県地球温暖化対策推進条例に基づき、結果報告書(H22~H24)と事業活動温暖化対策計画書(H25~H27)を提出しました。
(平成25年7月)
- ISO14001: 第2回のサーベランスを受け、継続合格しました。
(平成26年2月)

6.環境コミュニケーション

① 地域美化活動

- (1) 名称 2014年環境
クリーンキャンペーン
※小田原足柄地域連合主催
日付 平成26年10月4日
参加人数 9名



- (2) 名称 工場周辺公道の清掃
日付 平成26年11月10日
平成27年3月11日
参加人数 10名、30名



クボタシーアイ株式会社 小田原工場

7. サイトデータ

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	7,496
水使用量	万m ³	3.5

OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	15,885
---------------------	-------------------	--------

主要ばい煙発生施設		-		
項目	単位	規制内容	規制値	測定値
排出ガス	SOx	総量規制・K値規制 ともにm ³ N/h	ばい煙発生施設なし	
	NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm		
	ばいじん	g/m ³ N		

排水量	公共用水域 万m ³	-	
	下水道 万m ³	0.91	
汚濁負荷量	COD	kg/年	-
	窒素	kg/年	-
	りん	kg/年	-

排水	放流先	項目	単位	C排水口		D排水口	
				規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8~8.6	8.2~8.3	5.8~8.6	8.2
		BOD	mg/ℓ	60	1	60	1
		COD	mg/ℓ	60	1.0未満	60	3
		窒素	mg/ℓ	120	0.3	120	0.5
		りん	mg/ℓ	16	0.13	16	0.08
		六価クロム	mg/ℓ	0.5	0.05未満	0.5	ND
		鉛	mg/ℓ	0.1	0.01未満	0.1	0.01未満
		COD総量規制値	kg/日	-	-	-	-
		窒素総量規制値	kg/日	-	-	-	-
		りん総量規制値	kg/日	-	-	-	-
		下水道		pH	最小値, 最大値	-	-
BOD	mg/ℓ			-	-	-	-
COD	mg/ℓ			-	-	-	-
SS	mg/ℓ			-	-	-	-

※C排水口測定値はケイユ- (株)測定分

廃棄物排出量	t	77
再資源化率	%	99.6%